



全国有数の町営塾が久米島高校生と共に成長していく様子をお伝えする記事です。



## 今月のテーマ **夏は天王山!! 夏期講座は8/5から。**

### 散れば咲き 散れば咲きして **百日紅** 加賀 千代女

さるすべり

推薦・A0入試まで意外と時間ない!

8/17,18 は久米島祭りですね。久米島が一番熱く盛り上がる日といっても過言ではないと思います。花火が夜空を彩り、散っては咲きを繰り返して、夏の情景を私たちの心に印象付けてくれることでしよう。この時期は、受験生にとって非常に大切な時期です。

長期休暇に入って勉強漬けの毎日、なかなか成果が上がらない、問題にチャレンジしても解けるようになった気がしない、といった不安やストレスを抱えることもあると思います。上記の句は、中国は唐代の宮廷でよく植えられた百日紅を詠んだ歌です。百日紅や花火のように、花を咲かせるまでは 蕾のままじっと耐え、その時が来たら立派に堂々とした花々を咲き誇らせてください。頑張れ受験生。



1年生も夏休み頑張ります!

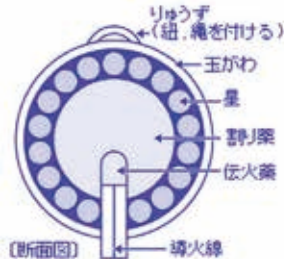
### ちゅらぜみ ~久米島美術館へようこそ

7/1 に、2019 年度第 2 回目のちゅらゼミを開催しました。その名も「久米島美術館へようこそ」。グループに分かれながら、お題となる絵を見て、絵が表現しているストーリーを考え、それを話し合うといったもの。一つの絵を見て、解釈や考える世界観が全く違うことも。参加した高校生たちは、そんな違いを受け入れ、多様性と新たな価値観の創出などといった気づきを得ました。



### 花火と化学の仕組み

花火の歴史は1543年の鉄砲伝来とともに、火薬の配合が伝えられたことに始まります。打ちあげ花火の玉は、導火線、割薬、星、玉皮などで作られていますが、花火の色は星の部分で付けられます。赤はストロンチウム、緑はバリウムといった金属化合物の炎色反応によって、発色します。夜空を彩る花火は化学反応の組み合わせです。



### 退任の挨拶

森 春佳 (2019.7 月末日退任)

久米島へ来て、一番最初に心惹かれたのは、「色」でした。咲いている花の鮮やかさ。そして、大地と比べて、空の比率はなんて大きいんだろう!と驚きました。塾へ来ている高校生は久米島が好きで、将来島を盛り上げたいと考えている子が多く、そうした生徒たちの将来を応援することは、私の誇りでした。生徒を含め、島の方々と接する中で、私の心は着実に彩が増しました。ありがとうございました!



**お問い合わせ** 勉強に関するご質問など、お気軽にお問い合わせください! スタッフが丁寧に答えします!

☎ 070-3802-2739 E-Mail : kumejuku@gmail.com  
フェイスブックも更新中 「久米島学習センター」で検索!

フェイスブック  
QRコード

